

NEC
Express5800シリーズ

ESMPRO[®]/JMSS[®] Ver7.2
EventManager
UL1044-30D
UL1044-H30D
UL1044-J30D

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは、「ESMPRO/JMSS EventManager」をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本書は、セットアップ方法について説明しています。製品をお使いになる前に必ずお読みください。

また、「ESMPRO/JMSS EventManager」の説明書として次のものがあります。

- ・「ESMPRO/JMSS Ver7.2 EventManager ユーザーズマニュアル」

最新情報は、NECサポートポータル(<https://www.support.nec.co.jp/>)にて公開しております。

- ・最新マニュアル、セットアップカード

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3170100377>

【JMSS】 マニュアル、セットアップカード

- ・最新リビジョンの紹介

【JMSS】 最新リビジョンを教えてください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3150111020>

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

目 次

ごあいさつ	ii
目 次	iii
1 インストールの準備	1
1.1 システム環境	1
1.2 インストールを行う前に	2
2 インストールの方法	3
3 アンインストール	8
4 注意事項	9
付録 終了コード表	10

1 インストールの準備

1.1 システム環境

●サーバ

オペレーティングシステム	Windows Server 2003, Standard Edition Windows Server 2003, Enterprise Edition* Windows Server 2003, Standard x64 Edition Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition* Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition* Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition* (上記はいずれも SP2 を適用のこと) Windows Server 2008 Standard Windows Server 2008 Enterprise* Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise* Windows Server 2012 Standard Windows Server 2012 Datacenter* Windows Server 2012 R2 Standard Windows Server 2012 R2 Datacenter*
メモリ容量(最小使用メモリ)	3MB 以上
固定ディスク空き容量	4MB 以上

*ESMPRO/JMSS EnterpriseEditionと併用する場合のみ

●クライアント

オペレーティングシステム	Windows Server 2003, Standard Edition Windows Server 2003, Enterprise Edition* Windows Server 2003, Standard x64 Edition Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition* Windows Server 2003 R2, Standard Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition* Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition* (上記はいずれも SP2 を適用のこと) Windows Server 2008 Standard Windows Server 2008 Enterprise* Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise* Windows Server 2012 Standard Windows XP Professional SP2以降 Windows Vista Business、Windows 7 Professional Windows 8 Pro、Windows 8.1 Pro
メモリ容量	4.5MB
固定ディスク空き容量	2MB以上

*ESMPRO/JMSS EnterpriseEditionと併用する場合のみ

1.2 インストールを行う前に

インストールを行う前に、以下の条件をすべて満たしていることを確認してください。
条件を満たさない場合、インストールが正常に行えない場合があります。

(1) マシン環境の条件

① ドメイン運用の場合

- ・ JMSS運用コンピュータは、JMSS運用ドメインに属していること。
- ・ ログオン先は、JMSS運用ドメインであること。
- ・ ドメインコントローラが正常に起動していること。

② ワークグループ運用の場合

- ・ JMSS運用ワークグループに属していること。

(2) インストールユーザーの条件

インストールユーザーは、以下のユーザーグループに属していること。

① ドメイン運用の場合

- ・ JMSS 運用ドメインの「Administrators」グループ
- ・ JMSS 運用ドメインの「Domain Admins」グループ
- ・ JMSS 運用コンピュータの「Administrators」グループ（ドメインコントローラ以外の時）

② ワークグループ運用の場合

- ・ JMSS運用コンピュータの「Administrators」グループ

注意： アンインストールは、インストールユーザーと同じユーザーで行う必要があります。

(3) EventManagerサービスのアカウントの準備

インストール時にEventManagerサービスのアカウントを指定しますので、以下の条件を満たすアカウントを準備してください。

① ドメイン運用の場合

- ・ JMSS 運用ドメインの「Administrators」グループ
- ・ JMSS 運用ドメインの「Domain Admins」グループ
- ・ JMSS 運用コンピュータの「Administrators」グループ（ドメインコントローラ以外の時）

② ワークグループ運用の場合

- ・ JMSS 運用コンピュータの「Administrators」グループ

2 インストールの方法

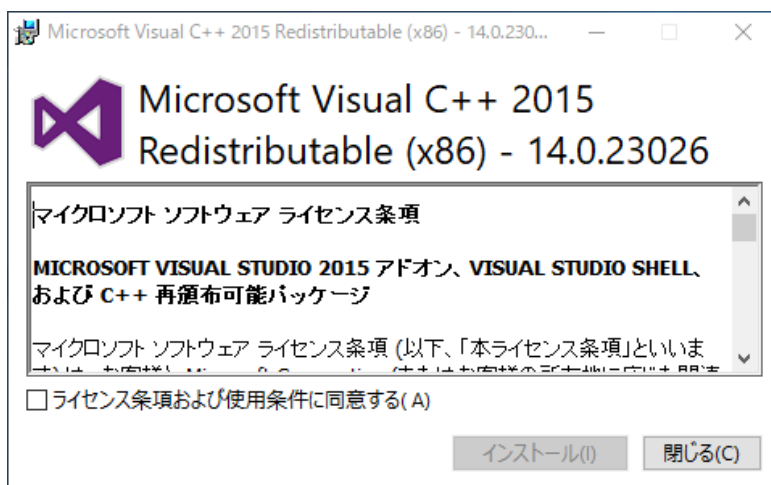
『1. インストールの準備』を必ず読み、インストールの準備を行ってから、インストールを行ってください。

注意： ①サーバ上で「ESMPRO/ServerManager Ver4.x」と連携し、統合ビューアからJMSSサーバの監視を行うには、前もって「ESMPRO/ServerManager Ver4.x」をインストールしておく必要があります。
②上書きインストールの場合は、EventManagerサービスを停止する必要がありますので、イベント定義が実行されていないことを確認してから実施してください。

- (1) ESMPRO/JMSSまたはESMPRO/JMSS EnterpriseEditionの製品パッケージに入っているCDのsetup.exeを起動します。
- (2) インストールウィザードが起動されますので、ウィザードに従ってインストールを進めてください。

いくつかのダイアログについて説明します。

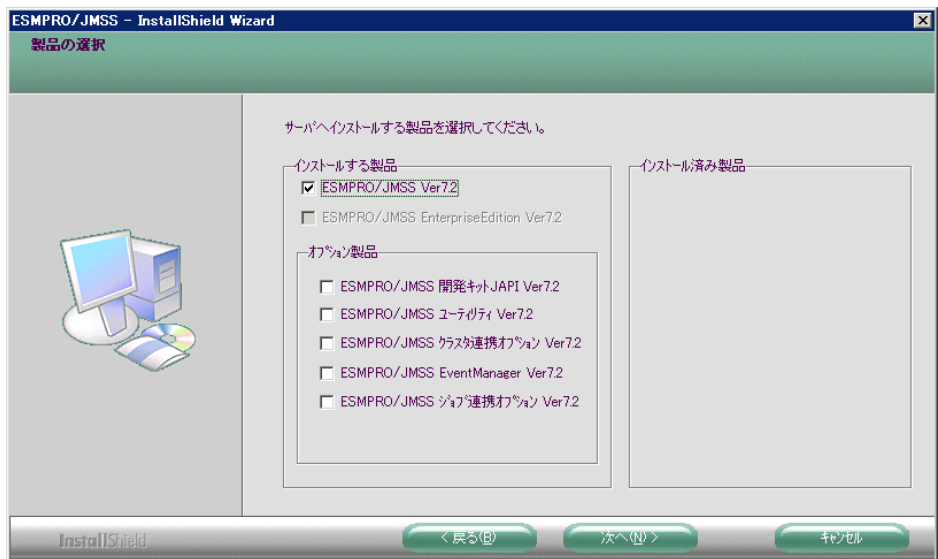
(a) 「Microsoft Visual C++ 2015 ランタイムライブラリ」適用ダイアログ



Ver7.26以降はインストールおよびJMSSの実行環境でMicrosoft Visual C++ 2015以上のランタイムライブラリが必要になります。このランタイムライブラリがインストールされていない場合、上記のダイアログが表示されますのでインストールを行ってください。

注意： Microsoft Visual C++ 2015以上のランタイムライブラリがインストールされていない場合、インストールが失敗します。

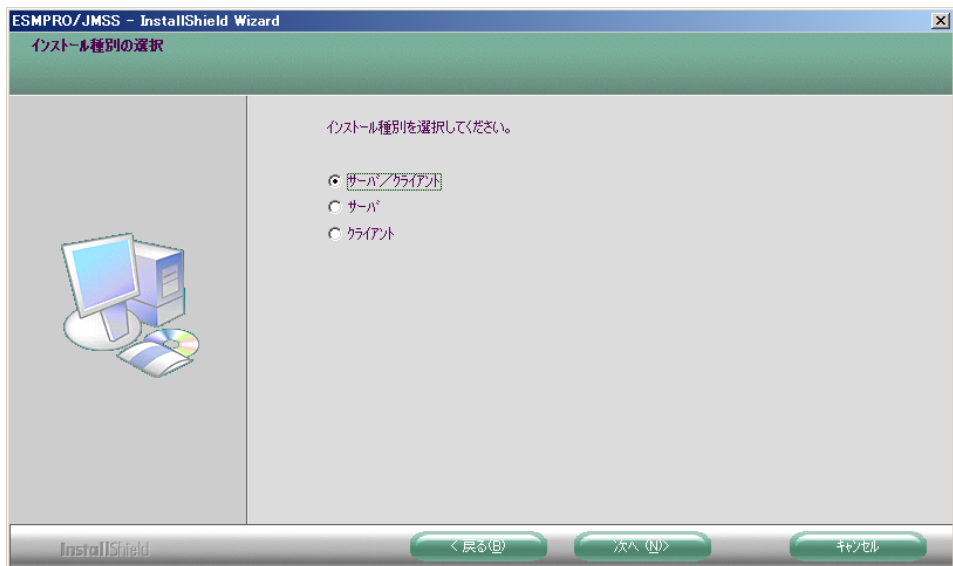
(b) 「製品の選択」 ダイアログ



このダイアログでは、インストールする製品を選択します。

- EventManagerをインストールするマシンには、「ESMPRO/JMSS」または「ESMPRO/JMSS Enterprise Edition」がJMSSサーバまたは稼働マシン(クライアントの場合はJMSSクライアント)としてインストールされている必要があります。
- インストール済みの製品を選択すると、該当製品は上書きインストールされます。

(c) 「インストール種別の選択」 ダイアログ



このダイアログでは、EventManagerのインストール種別を選択します。
デフォルトでは、「サーバ/クライアント」が選択されていますが、使用目的
に応じてインストール種別を選択してください。

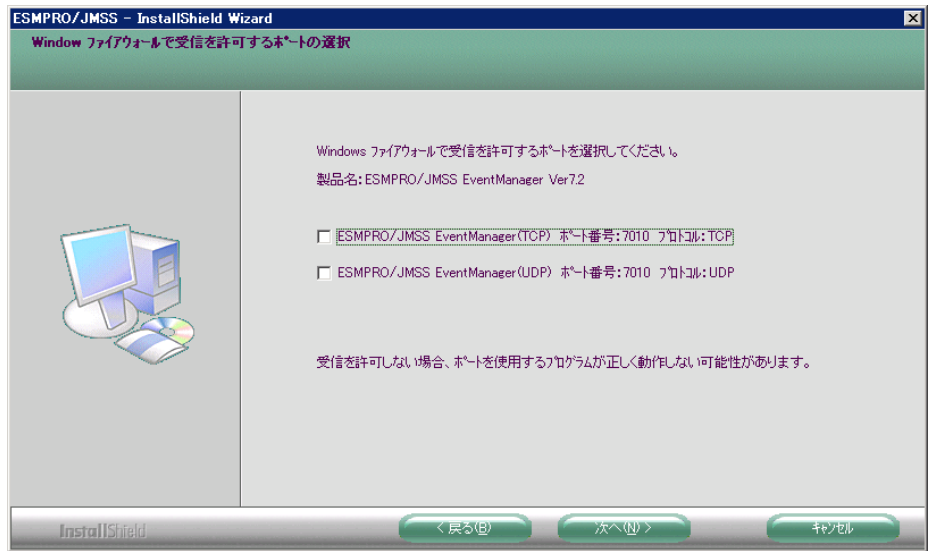
(d) 「サービスアカウントの入力」 ダイアログ



このダイアログでは、EventManagerサービスのアカウントを指定します。『1. インストールの準備』で準備したアカウントを指定してください。アカウント名は、ドメイン運用の場合は“<JMSS運用ドメイン名>¥<ユーザー名>”、ワークグループ運用の場合は“<コンピュータ名>¥<ユーザー名>”の形式で指定します。

上書きインストールの場合には、以前に入力したアカウント情報を利用することが可能です。「サービス起動アカウント情報を引き継ぐ」にチェックを入れてください。

(e) 「Windowsファイアウォールで受信を許可するポートの選択」 ダイアログ



このダイアログでは、EventManagerで使用するポートを設定します。受信を許可しない場合、EventManagerは正しく動作しませんので、ここで設定しない場合は、インストール後にポートを設定してください。

なお、Windows Firewallのサービスが起動している場合のみ、このダイアログが表示されます。

また、アンインストールしても、上記のポートの設定はインストール前の状態に戻りませんので、ご注意ください。

注意： インストール時に万が一、エラーが発生した場合は「付録 終了コード表」を確認してください。

3 アンインストール

- (1) ESMPRO/JMSSまたはESMPRO/JMSS EnterpriseEditionの製品パッケージに入っているCDのsetup.exeを起動します。
- (2) インストールウィザードが起動されますので、ウィザードに従ってアンインストールを進めてください。

4 注意事項

(1) インストールについて

本製品より前のバージョンの製品を上書きインストールしないでください。

(2) バージョンアップについて

EventManagerをVer7.0以前からVer7.2へバージョンアップした場合は、EventManagerクライアントにてイベント定義を再保存してください。

この手順を行わない場合、ジョブが起動エラーになる場合があります。

1) EventManagerクライアントを起動し、対象サーバへ接続します。

2) イベント定義を選択します。

3) メニューの [操作]-[編集]を選択し、編集モードにします。

4) メニューの [ファイル]-[保存]を選択し、保存します。

5) メニューの [操作]-[編集]を選択し、編集モードを終了します。

6) 2)～5)を全てのイベント定義で実施します。

(3) EventManagerで使用するポート番号の設定方法

EventManagerでは、ポート番号7010を使用します。

ポート番号7010が既に他のソフトウェアにて使用されている場合、ポート番号を変更してください。

① “システムドライブ:¥Windowsインストールディレクトリ¥system32¥drivers¥etc¥ services”
ファイルを開きます。

② サービス名及びポート番号を追加／変更します。

(例)	JmssEvtDrv	7012/tcp
	JmssEvtDrv	7012/udp

注意： ①サービス名 (JmssEvtDrv) とポート番号 (7012/tcp、7012/udp) の間の空白は半角スペースで入力してください。タブは使用しないでください。

②ポート番号を変更する場合は、JMSSサーバ、稼働マシン、クライアントで同一のポート番号を指定してください。

(4) インストーラの起動について

インストーラは、同時に二つ以上起動しないでください。二つ起動した場合には、すぐに終了してください。

もしも二つ以上のインストーラを同時に実行した場合には、インストール済みの全製品をアンインストールし、再インストールを行ってください。

(5) インストーラの動作について

同一リビジョンでの再セットアップ、またはバージョンアップインストールを行うと、一部のフォルダやファイルのアクセス権、及びINIファイルの内容が、インストーラで指定した値や、JMSSの初期状態に変更となります。

各製品のインストールフォルダ、インストールフォルダ配下のサブフォルダのアクセス権を変更している場合には、必要に応じて再設定ください。

付録 終了コード表

インストール／アンインストールに失敗した場合、「%temp%」フォルダに出力される JMSS インストールログファイル「~JMSLOG.SYS」をご確認ください。インストールログは「-----」（ハイフン 54 個）から始まるため、最後の該当行以降が最後のインストール／アンインストールのログとなります。

「終了コード： 12050」のように記載される行を確認し、該当コードに対応する対処を実施ください。

下記の表において、コードは上段が 10 進数、カッコ内が 16 進数です。

コード	説 明
0 (0)	内容： インストールに成功しました。 対処： なし。
10769 (2A11)	内容： JMSSインストール情報の参照に失敗しました。 対処： JMSSサーバへのインストールが正常に行なわれたか確認してください。
10770 (2A12)	内容： JMSSインストール情報の作成に失敗しました。 対処： JMSSサーバへのインストールが正常に行なわれたか確認してください。メモリが十分か確認してください。
11027 (2B13)	内容： ファイルの作成に失敗しました。 対処： ディレクトリおよびファイルの書き込み属性を確認してください。
11042 (2B22)	内容： 製品情報の削除に失敗しました。 対処： インストールを起動可能なユーザーか確認してください。 レジストリへのアクセス権があるか確認してください。
11265 (2C01)	内容： ドメイン名の取得に失敗しました。 対処： ドメイン環境とドメインコントローラの状態を確認してください。 またはメモリが不足している可能性があります。いくつかのアプリケーションを終了させて再度「ESMPRO/JMSS」のインストールを行ってください。
11267 (2C03)	内容： サービスの作成に失敗しました。 対処： サービスが正常に動作していることを確認してください。 また新規インストールの場合では同名のサービスが存在しないこと、上書きインストールでは同名のサービスが存在していることを確認してください。
11270 (2C06)	内容： 自マシン名の取得に失敗しました。 対処： マシン環境を確認してください。
11522 (2D02)	内容： 「JMSS/ジョブ運用管理」、「ESMPRO/JMSS Enterprise Edition」がインストールされています。 対処： 「JMSS/ジョブ運用管理」、「ESMPRO/JMSS Enterprise Edition」をアンインストールしてから「WebSAM JMSS」のインストールを行ってください。
11523 (2D03)	内容： 使用しているOSでは使用できないインストールツールでインストールを行おうとしています。 対処： 使用しているOSに合ったインストールツールでインストールを行ってください。

コード	説 明
11682 (2DA2)	内容： WebSAM JMSSのインストール情報が不正です。 対処： WebSAM JMSSが正しくインストールされているか確認してください。
11713 (2DC1)	内容： JMSS/JLookログファイルの変換に失敗しました。 (バージョンアップインストール時のみ発生) 対処： JMSS/JLookログファイルが壊れている可能性があります。 今までの監視ログは表示できません。
11714 (2DC2)	内容： JMSS/JScheduleで登録したスケジュールデータの変換に失敗しました。(バージョンアップインストール時のみ発生) 対処： スケジュールデータが壊れている可能性があります。 今までに登録したスケジュールデータは使用できません。
11715 (2DC3)	内容： JMSSセキュリティ情報の変換に失敗しました。 対処： JMSSセキュリティ情報が壊れている可能性があります。 今まで使用していたJMSSセキュリティは使用できません。
11716 (2DC4)	内容： JMSSのSG情報が不正です。 対処： (セキュリティ情報、キュー情報) 前回JMSSインストールからマシン名が変更された可能性があります。
11719 (2DC7)	内容： DLLのロードに失敗しました。 対処： メモリが十分か確認してください。
11720 (2DC8)	内容： 本インストーラで旧バージョンの製品をアンインストールできません。 対処： 旧バージョンの製品をアンインストールしてから本インストーラを起動してください。
12050 (2F12)	内容： システムファイルのインストールに失敗しました。 対処： メモリが十分か、空きディスクが十分かを確認してください。